

## (5) 電 気

年齢 50 歳以上の方達は子どもの頃ランプ（石油ランプ）のほやみがきをさせられたものです。ランプは一晩あかすとすゝで真黒になるのでみがかなければならない。ほやの口は小さいが子どもの手なら入るので、どこの家でもほやみがきは夕方の子どもの請負仕事であった。遊びほうけて怠けようものなら、詰く叱られたものです。

記録によると、楡葉町に電気が入ったのは明治 42 年 6 月 21 日となっている。停車場通りの賑やかな所に電燈がつくようになったのは大正 10 年頃といわれているが、それとて一部にすぎなかった。それ以来次第に地域が広められて、山間僻地まで普及したのは昭和 20 年代である。

ランプは今では昔を偲ぶ骨董品となっている。



### ①町の電気使用量

楡葉町全体でどの位の電気を使用するのか東北電力楡葉出張所（TEL 2039）で調べたところ、楡葉町と広野町の合併のものしか得られず資料としては価値がうすいが掲載する。

月	使用量	金額千円	月	使用量	金額千円
1	4,213×10 <sup>3</sup> KWH	104,572	7	3,506×10 <sup>3</sup> KWH	93,361
2	3,919× "	99,742	8	3,746× "	99,427
3	4,003× "	99,412	9	3,648× "	97,087
4	3,946× "	99,617	10	3,725× "	95,315
5	3,744× "	95,786	11	3,909× "	97,434
6	3,367× "	88,157	12	4,305× "	105,801

